

BRAIN and NERVE

Vol.72 No.1 January 2020



今月の表紙：神経疾患の薬物開発においては治験が多数進行中であり、期待が集まる。薬を液剤化して携帯型のポンプから持続的に皮下注射したり、アコーディオン型のシートを胃内に付着させて薬剤放出を行ったりするなど、剤型の工夫も進んでいる。

座談会

3

『BRAIN and NERVE』の未来へ

神田 隆, 酒井邦嘉, 下畑享良, 高尾昌樹, 三村 将, 虫明 元

特集

神経難病をクスリで治す

— 薬物開発の現況と近未来への展望

13

筋萎縮性側索硬化症における創薬開発の現状と展望

漆谷 真

23

アルツハイマー病 — 臨床試験の現状と展望 玉岡 晃

35

パーキンソン病治療薬開発の現状と展望 望月秀樹

45

多発性硬化症疾患修飾薬のいま 久富木原健二, 中原 仁

61

視神経脊髄炎スペクトラム障害治療の展望 中島一郎

総説

69

失われた記憶の回復 — ヒスタミン神経系による記憶想起の調節について

野村 洋

連載

75

臨床で役立つ 末梢神経病理の読み方・考え方

第10回 悪性腫瘍とニューロパチー 佐藤亮太, 神田 隆

学会印象記

80

MDS 2019 — 23rd International Congress of Parkinson's Disease and Movement Disorder 河村 満

書評

83

プロメテウス解剖学エッセンシャルテキスト 評者：祖父江 元

84

投稿規定

86

Information for Authors

88

バックナンバーのご案内

89

次号予告

90

あとがき